



年頭挨拶

岩手県知事 達増拓也

年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人岩手県測量設計業協会及び会員の皆様方におかれましては、設立当初から、岩手県の測量設計業界の健全な発展を図るため、会員企業の技術力の向上、品質の確保や経営基盤の強化等に努められるとともに、公共事業推進の重要な担い手として、社会資本の整備や災害復旧等に多大な御貢献を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災津波の発災から間もなく14年を迎えようとしています。この間、会員企業の皆様の御支援をいただきながら、社会資本の復旧・復興に向けた取組を各地域で進めることができ、その結果、復興道路・復興支援道路・復興関連道路が全て完成し、新たな道路ネットワークが形成されるとともに、防潮堤などの津波防災施設も整備が進みました。

また、本県にも大きな被害を及ぼした平成28年台風第10号災害や令和元年台風第19号災害、昨年7月から9月に発生した大雨災害に際しましても、発災直後から出動し、被災状況の把握や災害査定への申請に向けた測量設計等に迅速に対応され、被災者の生活基盤の早期回復などに御尽力いただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

県では、「いわて県民計画（2019～2028）」に基づき、東日本大震災津波からの復興に取り組むとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の計画的な推進により、安全・安心を支える社会資本の整備や老朽化対策に取り組んでいます。

測量設計業は、社会資本整備を始め、激甚化・頻発化している自然災害や、老朽化が進む公共土木施設の維持管理への対応など、県民の暮らしの基盤である社会資本の品質を左右する重要な業務であり、県民生活の維持・向上や地域の発展に欠かすことのできない役割を有しており、その期待は、一層大きくなっています。

一方で、物価高騰など、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しております。

このため、県では、「県民の豊かで安全・安心な暮らしを創り、守る」という、測量設計業をはじめとする建設業全体が地域から期待される役割を将来にわたって果たしていけるよう、「いわて建設業振興中期プラン 2023」に基づき、建設企業や建設業団体の皆様と一体となって、担い手の確保・育成や働き方改革の推進、生産性の向上などに取り組んでいます。

今後とも、県民生活の安全・安心や快適な暮らしに寄与する、より質の高い社会資本を提供できるよう、岩手県測量設計業協会及び会員の皆様には、なお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人岩手県測量設計業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。